

## 訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
(編集部)

### ■ 2002年11月号

#### ● 特集

p.189 図3：正しい図は下図

p.191 図6：正しい図は右下図

### ■ 2002年12月号

#### ● 発掘 !! あるある回路集

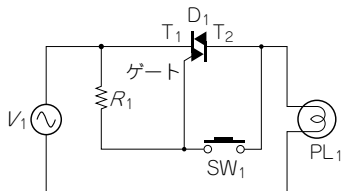
p.123 図1：オープン・コレクタ出力

p.124 図3： $D_4$ の左側の抵抗は $R_0$ で  
3.3 k $\Omega$

#### ● 特集

p.139, 図11：リモートI/O出力値LED

p.141, 右↑2行目：192.168.1.2



p.182, 図3：JDK1.18→JDK1.1.8

p.184, 右↓2行目：ができていいる→を  
作成した

p.185, 左↓8行目および12行目：  
Print.java→Print.c

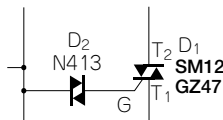
p.191, 左↓13行目：J2SE1.3.1\_01

p.197, 左↓5行目：「上下動」と「左  
右動」を入れ替え

#### ● わかる !! アナログ回路教室

p.238 左↓15行目： $|A\beta|$ → $A\beta$

p.239 図12-4：一番下の $\zeta$ に関する式  
の分母は $\sqrt{1+A_0\beta}$ ,  $T$ に関する式の分母  
も $\sqrt{1+A_0\beta}$



p.240 図12-7： $R_2$ は33 k $\Omega$

p.240 図12-8： $R_2$ は33 k $\Omega$

#### ● ビデオ信号の評価テクニックを学ぼう

p.265 図6：水平ブランキング立ち下  
がり時間は140 ms  $\pm$  20 ns, 水平ブラン  
キングの立ち下がりから立ち上がりまで  
の周期の許容範囲は+0.3, -0.2, 水平  
同期立ち下がり時間は140  $\pm$  10 ns, カ  
ラー・バースト信号の立ち上がり時間の  
単位はns, セットアップ・レベル(黒レ  
ベルの基準)は7.5  $\pm$  1 IRE

p.266 右↓2~3行目：…レベルは約  
0.714 V, シンク・チップは約0.286 V

#### ● 低抵抗の測定方法と測定に必要な…

p.281 左↓1行目：大気→雰囲気

p.282 右↑1行目：アルファ・エレクト  
ロニクス(株)

#### ● 奥付

p.292 左↓2行目：2003年度版…